



# 堺市空手道協会

29年10月1日 大浜体育館

## 第44回堺市空手道選手権大会

### 競技規定

#### ※新ルール適用

#### 形の部

- ☆ 小学生はベスト8までは指導型及び基本型。ベスト8以上は自由形とする。  
ベスト8まで同一形連続使用可。以降形を変えての連続使用可。
- ☆ 幼年、小学1、2年生は連続同一形使用可。
- ☆ 団体形試合は全て自由形とし、小学1～3年団体形試合のみ決勝戦まで、同一の形の連続使用を認める。  
4～6年生の部、中学生の部及び一般の部は1.2回戦同一形連続使用可。以後連続して同一形の使用は不可。
- ☆ 団体戦のメンバー変更はあらかじめ登録された者のみ変更は自由に行える。(パンフレットに記載されている者)
- ☆ 中学生、高校、一般については基本型を含む自由形。
- ☆ マスターズに関しては基本形(平安・撃砕等)を除き、全て自由形とする。連続不可・交互使用可
- ☆ コート外での礼は行わない。

#### 組手の部

- ☆ 全種目上段攻撃有りとする。
- ☆ 全種目についてメンホー・胴プロテクター・拳サポーター・金カップ装着を義務付ける。
  - ・金カップに付いては個人又は責任指導者にその責任をゆだねるものとする。
  - ・拳サポーターに関しては、原則 青・赤のサポーター使用を義務付けるが、  
従来の白色サポーターの使用も認める。
  - ・胴プロテクターに関しては、インナーパットは胴着の下に着用する。  
アウトパットに関しては胴着の上から着用しても差し支えない。
  - ・シンガード使用は個人の自由とする。
- ☆ 試合時間は全ての種目を1分フルタイム制とする。
- ☆ 全空連試合規定にて行い、6ポイント先取を持って勝敗を決する
- ☆ 小・中・高校生はジュニア&カデットルールを採用する。
- ☆ 高校・一般女子組手はカデットルールを採用する。
- ☆ 団体戦のメンバー変更はあらかじめ登録された者のみ変更は自由に行える。(パンフレットに記載されている者)
- ☆ 団体戦は勝敗が決しても大將戦まで行う。(堺市空協ルール)
- ☆ 団体戦においては、原則として学年の低い者(堺市空協ルール)を先方とする。(同一学年内の場合は変更自由)